

保護者アンケートに対する園からの回答

<セキュリティ>

・今年度は門の交換（オートロック化）と谷田川沿いのフェンスを高くする工事を行いました。セキュリティを強化したことで概ね良い評価をいただきありがとうございます。一方、門が中途半端に閉まり、ICカードで開けられないということが時々あります。門の開閉時は必ずしっかり閉まっていることを確認してください。

・ICカードとQRコードリーダーの連動につきましては、難しいと考える。門を通過してから実際に保育室にお子さんを預けていただくまでに一定のインターバルがあることから、お子さんの人数確認を行うにあたり不都合が生じる可能性がありますので、現時点では考えておりません。

<駐車場>

・現在、徒歩、自転車、車など様々な方法で送迎が行われています。前の道は通学路にもなっており、小学生をはじめ幼稚園、中学生、高校生、地域住民のみなさんが多く利用されています。道幅が狭いため、朝夕の送迎時は混雑し、一層注意が必要となっています。アンケートにもあったように危険を感じるという声も寄せられていますので、車利用の方におかれましては、特に周りへの配慮をお願いいたします。最徐行を基本として、「今から駐車します」という意思をハザードランプで知らせることは、事故を防ぐために有効であると考えますので、積極的に活用いただきたいです。また、早めの送迎（駐車時間の短縮）を心がけていただくことで混雑が解消されます。駐車場が空いていると見通しが良くなり危険度も下がりますので、こちらへのご協力もお願い致します。園からの注意喚起についても頻度を増やし、不幸な事故を防げるように努めて参ります。（駐車場内では必ずお子さんと手をつないでいただきますよう再度お願いいたします。）

<持ち物>

・「ロッカー内の持ち物の量が分からず確認をしたい」というご意見をいただきました。現在、コロナの影響で保護者のみなさんには保育室前までの入室に制限させていただいております。まだ当分の間はこの状況が続くと考えています。持ち物が不足している時や多すぎる時は、担任の方からお伝えしています。持ち物の確認を希望される場合は、口頭もしくはお帳面で担任までお知らせいただければ対応します。お手数をお掛けしますがご理解ご協力の程、お願い致します。

<行事について>

・コロナが確認されてから3年が経ち、付き合い方も少しずつ変化してきています。全ての行事において、以前に戻すことはまだまだ難しい状況ではありますが、可能な所から一つずつ取り組んでいきたいと考えています。例えば、2月のあいあい発表会については、クラスごとで行い保護者2名までの参加を考えています。リアルタイムで発表を見てもらい子どもたちの気持ちに共感してもらうことで、共に成長を喜び合う場にしたいと思います。今後の感染状況や政府の方針等を注視し、来年度の行事についても柔軟な対応ができるように考えていきます。

・「祝日と行事を同じ週に入れなくてほしい」というご意見に対しては、年間行事を立てるにあたり全体のバランスや地域との調整により難しいこともあります。貴重なご意見として参考にいたします。

<保育参観や動画配信について>

・アンケートを通して、普段の保育の様子をもっと知りたいという保護者のみなさんの思いが伝わってきました。予定していた保育参観が雨天のため実施できなかったクラスもあり、その影響もあったように思います。今年度はキッズビューの「お知らせ機能」を使って、各クラスから保育の様子や動画の配信を進めてきました。歌やリズムなどの活動だけでなく自然に過ごしている姿の配信を求めのご意見もありましたが、普段の保育と並行し保育の様子を撮影し編集後に配信することには様々な配慮が必要です。これまで以上に頻度を増やしたり内容に工夫を凝らしたりすることは、難しい状況です。できる範囲の中ではありますが、ご意見を繁荣していけるように心がけていきます。また、雨天時の保育参観についても、別日を設ける、室内で行うなど、代替案を考えていきます。

(※なお、写真の『データ販売』は現在対応しておりません)

<保育内容>

・「園で作ったものを家に持ち帰って遊ぶが衛生面で気になる」とのご意見をいただきました。木の実など、物によっては冷凍してから使ったり煮沸消毒してから使ったりすることもありますが、全てに対して出来る訳ではありません。具体的に何を持ち帰ったのか分からないのでお答えしにくいのですが、子どもにとっては自分が体験して楽しかったものを大好きなおうちの人に見てほしい、一緒に遊びたいという気持ちがあるのではないかと考えます。自然物を使った色水など、水分の多い物や持ち帰りで困るものについては、子どもの見せたい気持ちに寄り添いながら見せ方を工夫してきます。その都度、ご相談いただければ幸いです。

<家庭との連絡>

・「行事をお知らせする際の『日にち・曜日』の間違が多い」とご意見をいただきました。確認が甘く単純なミスでご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。今後は余裕を持って文書を作成したり、ダブルチェック・トリプルチェックをしたりして、間違った案内にならないように細心の注意を払いお知らせしていきます。

・「喫食の様子や便の状況を教えてほしい」というご意見をいただきました。現在、連絡ノートで食事・睡眠・排便の状況を全てお知らせするのは0歳児クラスのみとしています。1歳児クラス以降はクラスごとに必要と考える情報を記入しています。園での排便がない、いつもと同等量食事を食べているようなときは、記入をしないこともあります。クラス懇談会や個別懇談会等の場を通して、連絡ノートの活用方法についてしっかりお伝えできるように努めていきます。

・「お迎え時にお子さんの様子を報告してほしい」というご意見に対しては、保育中やお迎えが重なるなどの理由からお話しできない時もあります。お子さんの楽しいエピソードや頑張ったことなどについて、お伝えしたい気持ちを保育者も持っていますので、ご理解頂ければ有難いです。当日が難しい場合であれば、別日に時間を見つけてお話しできるように努力していきます。

・「夕方、担任でない職員が保育していたが、名前も分からないので紹介してほしい」というご意見をいただきました。不安を抱かせてしまい申し訳ありませんでした。初めて関わる保護者には、積極的に自己紹介するなどして関係を築いていけるように努めていきます。

・保育業務のICT化については、無理のない範囲で進めています。今後も少しずつ業務の効率化を図る予定ですので、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

<施設環境>

・「ベビーカー置き場が雨の日には濡れてしまう」というご意見に対しては、申し訳ございませんが、園では簡易な環境を提供することしかできません。大雨や風の強い日などはどうしても濡れてしまいます。ご家庭の方でレインカバーを嚴重につけていただければ有難いです。どうしても気になる方は、お持ち帰りいただく事をお願いします。また、自転車については基本的には持ち帰りいただきたいですが、必要な方には利用していただいています。但し駐輪場からあふれてしまう場合は、子どもの安全を保障するためにお持ち帰りください。（日中、玄関前は子どもの遊び場となっています。）常時、夜間に自転車を駐輪することもご遠慮ください。

<健康管理>

・水分補給に関するご意見に対して、園では0, 1, 2歳児については保育者が全て管理しています。3, 4, 5歳児については各自の水筒を持参してもらい喉が渴いたら自由に飲めるようにしています。午後からは、園で設定したお茶の時間以外にも、いつでも水が飲めるように冷水を冷蔵庫に用意しています。こまめに水分補給ができるように、定期的に保育者から声をかけるように努めていますが、徹底できていなかったことを反省します。今後は、一人ひとりのお子さんが我慢することのないように、こまめな声掛けやお子さんが声をかけやすい雰囲気づくりに努めて参ります。

・「歯磨きを再開してほしい」というご意見をいただきました。幼児の生活習慣として歯磨きは重要な活動ですので、いずれは再開したいと考えています。現状、当園の施設構造では感染予防を徹底することが難しいため中止していますが、歯科検診や虫歯予防デー等を通して歯の大切さを知らせています。

<全体のまとめ>

上記に回答した項目以外にも多くのご意見を頂戴いたしました。ありがとうございます。「あまりそう思わない」「そう思わない」欄にチェックの多い項目については、職員全体で何が考えられるか話し合いの場を持ち共に考えました。昨今、保育士による虐待や子どもの安全管理（ケガや人数確認の不備等）について、保護者のみなさんを不安にさせる事案が多く報じられております。決して「うちの園は大丈夫だろう」という根拠のない過信をすることなく、職員同士のチームワークを高めて、問題がある場合は小さな内から見逃さず丁寧に問題解決に努めることが重要であると考えています。保護者のみなさんに安心してお子さんを預けていただき、子どもが過ごすにふさわしい場所であり続けるため、みなさんのご協力のもと進めていきたいと思っております。

全てのご意見に回答できておりませんが、一つひとつのご意見に対して真摯に向き合い、次年度の保育にかして参ります。また記名のあった方に対しては、担当者より個別にお話をさせて頂きました。個別に返事を希望される場合、今からでもお声掛けいただければお答えしますのでお申し出ください。

アンケートにご協力頂きまして誠にありがとうございました。アンケートを通して園や職員に対し温かいことばを賜りましたこと、心より感謝申し上げます。今後も、保護者の皆さんから頂いたご意見をもとによりよい保育園づくりに努めます。